

「新型コロナ感染拡大の学生生活への影響調査」(4/21～

5/2) の現時点での特徴

2020/5/10

高等教育無償化プロジェクト FREE 京都

1. はじめに

高等教育無償化プロジェクト FREE 京都は、かけがえのない人生を豊かにする学びを経済的事情に左右されず、あらゆる人が権利として享受できる未来ある社会を実現するために、すべての人への高等教育の無償化を目指し、京都の学生が中心となって活動している団体です(詳細は別紙「FREE 京都設立宣言」参照)。

私たちは新型コロナ感染拡大を受け、「新型コロナ感染拡大の学生生活への緊急影響調査」(以下「影響調査」)を4月21日からインターネットを通じて行い、学生の実態調査を行いました。その結果、全国の73の大学・短大・専門学校等から512件の回答(5月2日22時現在)を得て、本日、緊急提言を発表します。今回の影響調査の結果発表、それに基づく緊急提言はあくまで中間発表とし、今後も影響調査を続けていくつもりです。今回の影響調査が今後、コロナ禍での学生の困難な状況を可視化させることができたものと考えています。

2. 影響調査結果

大学生・短大生・専門学校生・大学院生への大規模でスピード感のある支援が必要です。以下「影響調査」の特徴①～④を紹介し、要請の説明とします。

※数値はすべて小数第2位を四捨五入した値を記載しています。

※()内は京都府内の大学・短大・専門学校等(22校/390件)を対象にした5月2日22時時点の数字です。

(ア) 経済的被害

新型コロナ感染拡大の影響による学生の経済的被害は甚大です。

例えば、「アルバイトはやっていますか」という設問に対して44.0%(44.1%)の学生が「コロナ問題でアルバイトがなくなった」「(バイトを)やりたいが見つからない」と答えて

おり、「コロナウイルスの感染拡大による影響で収入はどうなりましたか」という設問に対して、39.3%(38.2%)の学生が「収入が減った」、29.5%(29.2%)の学生が「ゼロになった」と答えており、学生自身の収入の減少が見られます。また、保護者や実家が受けた影響について質問した「自粛等の影響を教えてください」の設問(複数回答)では、回答者の46.5%(47.4%)が「収入が減った」、6.6%(6.9%)が「収入がなくなった」と答えており、回答者の4.7%(4.9%)が「職を失った」「事業が立ち行かなくなった」「倒産した」と答えており、学生自身だけでなく実家や保護者の収入も大きく影響を受けていることがわかります。

また、アルバイト収入の使い道について質問した「アルバイト収入は何に使いますか」という設問に対し、67.4%(70.0%)の学生が「生活費」、44.5%(34.9%)が「本」、21.9%(21.5%)が「学費」、20.1%(20.0%)が「奨学金返済」と答えており、現在の学生にとってアルバイト収入が学生生活を続ける上で不可欠なものになっていることがわかります。そして、「アルバイト収入減や保護者の収入減などで大学等をやめることを考えていますか」という質問に対して「少し考える」の16.6%(17.2%)、「やめないが休学を検討している」と答えた2.7%(3.1%)の学生も含めて22.8%(24.7%)の学生が学びを一時的あるいは無期限に辞めざるを得ない状況が見えてきました。

<意見抜粋>

- ・親の自営業が経営難になり一人暮らしの家賃や生活費を払うのが厳しい(私立大学/1回生)
- ・親が失業した。退学を検討したが残り1年なので奨学金を追加申請した。しかし結局は自分の借金になるので今までの分と合わせると総額300万以上になり将来が不安。内々定が取り消され就活もやり直しになった。(私立大学/4回生)
- ・シフトを減らされ収入が激減、母子家庭のため、アルバイトの給料を学費に充てないといけないがそれをこれからできるかが不安(私立大学/4回生)
- ・バイトをしたいが私は祖母と暮らしているため、もしバイト先(外出をした際に)でコロナになってしまったら祖母や親族に移してしまうのではないかと不安である。そのため、なかなかバイトをすることが出来ない(私立大学/1回生)
- ・バイトを募集している店舗が無い(私立大学/1回生)
- ・シフトが減り最終的には収入源が無くなった(私立大学/4回生)

(イ)研究活動への障害

大学や専門学校での勉強、研究に大きな障害が生まれています。多くの大学や専門学校でオンライン授業が行われていますが、オンライン授業が実施される場合学生個人に経済的負

担が生じるかどうかと問うた「オンライン授業が行われた場合」という設問では32.2%(33.1%)の学生が「経済的負担が増える」と回答しており、オンライン授業が実施された場合困ることについて質問した設問では、回答者の73.6%(76.7%)が「(オンライン授業についての)情報が少ない」、47.9%(47.4%)が「落ち着いて受講できる環境がない」と答えており、受講にあたって学生の間には不安がある状況がわかります。

また、実習が中止になったことで資格取得ができるか、研究室や図書館の閉鎖によって研究や卒業論文ができずに卒業できるか不安だという声も多数寄せられています。

<意見抜粋>

- ・音楽科のため、実技の指導がしてもらえず、大学に通うために引っ越してきたので、練習する環境もない（国立大学/1回生）
- ・4年生になって研究室配属になったが、直接会う機会がないので、情報伝達がしにくいこともある（国立大学/4回生）
- ・家はインターネット環境が整っていないため、新たにWi-Fiを購入、契約しないと行けません。そのため授業料に加え、更に出費が増えます。大学側は通信にかかる費用の助成を検討しているようですが、決定には時間がかかるようで、どのような形態でWi-Fiを契約するか悩んでいます。また、コロナウイルスにより収入が激減した中で、通常の授業料を支払う事は、納入期限が延長されても、支払えるか不安です。これ以上、借金が増えるのは、今後の生活が苦しいです（私立大学/3回生）
- ・教育実習が秋に変更になったが、実際に秋までにコロナが収束し、教育実習ができるのかという不安がある（私立大学/4回生）
- ・留学に行くために貯金するほどのお金が得られない。留学したかったが、留学を断念せざるを得ない（私立大学/1回生）
- ・専門書が欲しいのに学校の図書館が使えなくて困っている（公立大学/4回生）
- ・図書館が使えないから学業が捗らない。自分で書籍を購入したいが、金銭的な不安から躊躇ってしまう。（国立大学/3回生）
- ・図書館の利用ができない。家以外で無料で勉強できる場所がない（国立大学/4回生）

(ウ)学生の抱える心身のストレス

メンタルヘルスをはじめ、健康面の不安と身体的負担が広がっています。調査によると39.8%(38.5%)の学生がアルバイトを続けていますが、この中には学費や生活費支払いのために高い感染症リスクの中でも、バイトに行かざるを得ない学生も含まれています。サークル活動が行えず友人に会えないという声や、大学のことについて相談できる相手がいないという新入生からの不安の声もありました。また企業説明会の中止や面接の先延ばしなどによ

って例年のような就職活動ができず、将来の不安からストレスを抱える学生も少なくありません。特に京都府では、大学生や専門学校生の一人暮らしが多い中で、学校にも行けず、帰省もできず、不安な気持ちを抱えて過ごしている学生も多く、精神面での学生サポートも急務です。

<意見抜粋>

- ・日中、月曜日から土曜日までずっと家で1人だから人と喋る機会がなく鬱になりそう（私立大学/1回生）
- ・四月から一人暮らしの予定だったが、中断し帰省したため、住んでいない部屋の家賃を払い続けなければならない(一人暮らしの再開は10月頃になる可能性が高い)（私立大学/1回生）
- ・体調が悪くなった際病院にも行けず、自粛の関係で誰も呼ぶ事ができない（私立大学/3回生）
- ・外に出られないこと、先行きが見えないことにストレスを抱えている（私立大学/3回生）
- ・サークル活動が休止中で大会なども中止になっています。サークルの仲間に会えないのがとても寂しく、気持ちが落ち込んでいます（私立大学/3回生）

(エ) 政府や大学に対する要望

「政府や大学に対する要望」では、経済的支援と迅速で正確な情報開示を求める声が非常に強い傾向にあります。大学に経済的支援を求める学生運動は全国で広がり、現在100以上の大学で行われていますが、私たちの調査では、大学が学生に対して行う支援を国や自治体が補助するように求める声も多かったです。また、政府や大学の出す情報について「分かりにくい」という声が多く、学生の間で情報が浸透しきっていないということもわかりました。

<意見抜粋>

- ・大学を1年延期する、もしくは秋学期始まり、秋卒業の形をとるとか、対面授業が1年間行えるようにしてほしい（私立大学/4回生）
- ・大学に要望したいこととして、学費(特に施設費)の予算を開示しどのように使われているか明確にしてほしい。そこで余剰金などあれば返還を求めたい（私立大学/3回生）
- ・限定的でも大学施設を利用したい（私立大学/4回生）
- ・大学には資格取得と就職進学を保証、対策について情報提供をして欲しい（私立大学/2回生）

- ・図書館の本の郵送貸出をしてほしい。ネットではなく紙ベースが良いため（私立大学/5回生）
- ・学費の減額や夏休みの授業の振り替えをやめて欲しい。振り替えるのであればインターンや企業説明の機会を大学独自で作って欲しい。他の大学生に遅れをとり、不利になるようなことはしてほしくない（私立大学/3回生）
- ・全国民に10万円配布したところで、親の手に渡ってしまったら子供は1円も貰えないことを理解して欲しい（私立大学/1回生）
- ・若い世代のメンタルヘル스에配慮してほしい（国立大学/3回生）
- ・授業料の撤廃または減額（政府から大学へ補助を出して行ってほしい。大学が身を切ることは求めている）。対面授業ができるようになるまで一律休講にしてほしい（私立大学/2回生）
- ・部落差別を律しているにも関わらず、地域によってはコロナ差別が横行しているので政府での啓蒙活動を行って頂けたらありがたい（公立大学/1回生）

3. 最後に

このままでは、新型コロナに学生生活と未来が奪われる世代が生まれる恐れがあります。「休学をして来年4月から大学生活を再開したい」と検討する学生も急増しています。大学に求めている学びができるのか、自己実現のための資格は取れるのか、実習ができずに専門職に就けるのか、情報の少ないまま進路選択を行っていいのかなど、学生は大学での学びと未来に対して大きな不安を抱えていました。

この世代が大規模な対策を講じられることなく社会に出た場合、本人と日本社会全体の大きな損失となる恐れがあります。以上のことに留意して、学生に対する支援を求めます。